

## 平成30年度活動方針及び活動計画（案）

### 活動方針

本年度の東海小・中学校区小域福祉ネットワークは、「市原市地域福祉計画」及び「市原市地域福祉活動計画」に基づき、東海小・中学校区に居住する住民一人ひとりの主体的参画を得て「助け合い・支え合い」の仕組みをつくり、誰もが地域での暮らし易さを確保するとともに、安全に安心して生活できる地域社会づくりを目的とすることを踏まえ、市原市社会福祉協議会との連携を密にして、地域福祉活動、地域コミュニティ活動をよりよく効果的に推進する組織として、以下に掲げる活動計画に基づいて事業を展開します。

### 活動計画

#### （1）広報紙（いきいき通信、瓦版）の発行（総務局）

年2回の「いきいきネット通信」の発行と、必要に応じ「瓦版」の発行を旨とします。

#### （2）高齢者への見守り支援体制の推進（高齢者部会）

地域における高齢者等が、安心して健康で生活できる地域社会を目指した体制づくりと、見守り支援事業を高める取り組みを推進します。

また、平成30年からスタートする「通いの場」は、町会や町会老人会等に趣旨や取り組み方を五井地区社会福祉協議会と協力し推進します。

#### （3）子どもの健全育成の推進（青少年部会）

子どもたちの登下校時における安全な見守り体制への取り組みを実施するとともに、児童との交流の場づくりの推進を図ります。

#### （4）防犯・交通安全対策の推進（環境部会）

安全で安心して暮らせる地域づくりに向け、地域ぐるみで犯罪を防止する活動と、防犯パトロールに併せての交通安全指導等を東海・海上地区の防犯協会と協力して実施します。また、部会計画に基づき

子どもたちへの挨拶運動、安全見守り活動並びに防犯と地区危険箇所の解消に努めます。

(5) 地域防災対策の推進 (防災部会)

地域住民の安全・安心の観点から、災害時の地域防災、減災にむけて体制づくりの取り組み等を強化するとともに、自主防災組織連絡協議会との協働で更なる推進を図ります。また、災害時に「自分で避難することが困難な高齢者や障がい者」等の支援体制を構築すると共に、日頃から災害発生時に相互に協力し合える近隣の自主防災組織間の連携強化を図ります。

(6) 運営協議会との連携強化

「いきいき広場」利用者のニーズを掌握し要望に応える形での事業連携や、利用しやすい環境整備の充実について、運営協議会との連携を密にし、地域に根差した運営に取り組めます。

(7) 安心生活見守り支援運営委員会事業の推進 (見守り支援委員会)

見守り支援活動の充実を図るため「見守り支援活動委員会」事業として一人暮らし世帯等が地域で安心して暮らせるよう、見守り活動の推進及び拡充を図ります。

(8) 避難所運営委員会事業の推進 (避難所運営委員会)

災害時の避難所は、それぞれの避難所(東海小・東海中・京葉高校)に、町会・自主防災組織などが一体となった「避難所運営委員会」を開設・運営を行う体制を整えます。